

向こう 1 か月の天候の見通し

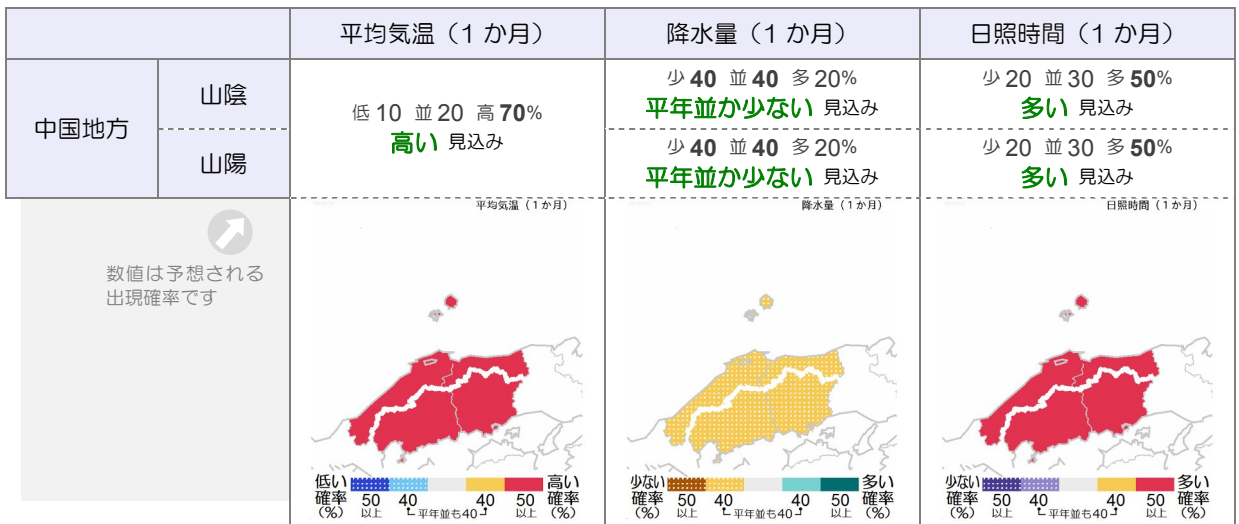
中国地方（7 月 14 日～8 月 13 日）

広島地方气象台

予報のポイント

- 期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。
- 暖かい空気に覆われて、1 週目と 2 週目の気温は高く、3～4 週目は平年並か高いでしょう。このため、向こう 1 か月を平均した気温も高い見込みです。
- 高気圧に覆われやすく、向こう 1 か月を通した降水量は平年並か少なく、日照時間は多い見込みです。

1 か月の平均気温・降水量・日照時間







週別の天候

(1 週目) 7/14～20	(2 週目) 7/21～27	(3～4 週目) 7/28～8/10
高気圧に覆われやすいでしょう。 このため平年に比べ晴れの日が多い見込みです。	高気圧に覆われやすいでしょう。 このため平年に比べ晴れの日が多い見込みです。	高気圧に覆われて、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

明日から 1 週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<https://www.jma.go.jp/jp/week/>) を参照してください。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

週別の平均気温

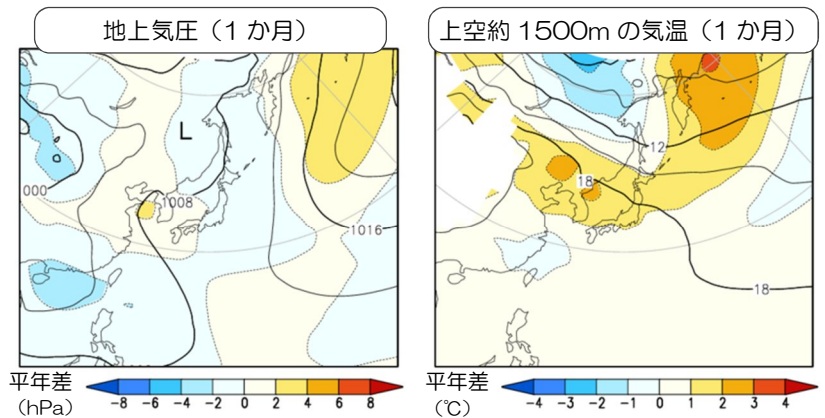
	平均気温（1 週目） 7/14~20	平均気温（2 週目） 7/21~27	平均気温（3~4 週目） 7/28~8/10
中国地方	低 10 並 10 高 80% 高い 見込み	低 10 並 20 高 70% 高い 見込み	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み
 数値は予想される 出現確率です	平均気温（1 週目） 	平均気温（2 週目） 	平均気温（3~4 週目） 
	低い確率 (%) 50 40 以上 平年並か 40 高い確率 (%) 50 以上	低い確率 (%) 50 40 以上 平年並か 40 高い確率 (%) 50 以上	低い確率 (%) 50 40 以上 平年並か 40 高い確率 (%) 50 以上

気温の実況と予想グラフは、不具合が生じているため掲載しておりません。ご迷惑をおかけして申し訳ございませんが、気象庁ホームページ <https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfcst/tjikeiretu/index.php> で予報発表日の15時頃には公開していますので、そちらをご利用ください。

数値予報モデルによる予測結果

1 か月平均の地上気圧（左図）は、西日本付近では太平洋高気圧の張り出しが強く、平年より高い予想です。このため、高気圧に覆われやすい見込みです。

上空約 1500m の気温（右図）は、日本付近は平年より高い予想ですが沖縄・奄美では平年との隔たりが小さい予想となっています。



季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

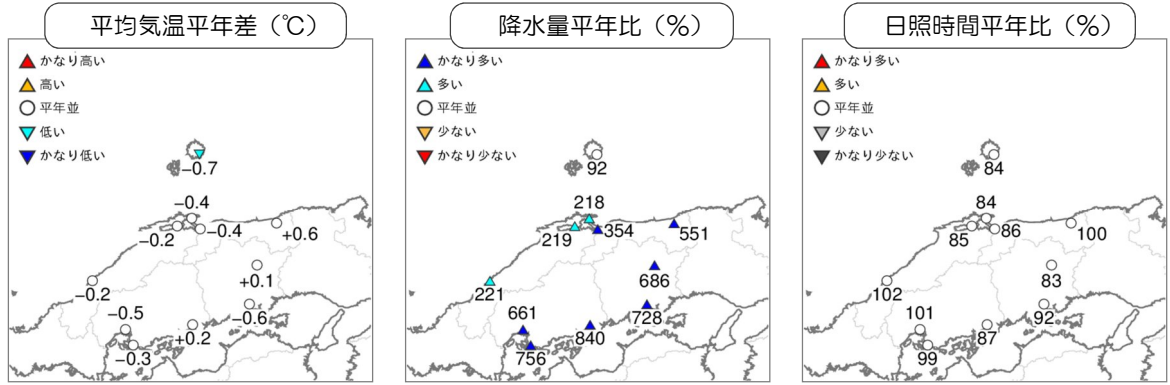
最近 1 週間の天候経過（実況）

7/5~11

期間の前半は活発な梅雨前線が西日本に停滞した影響で、広い範囲で記録的な大雨（平成30年7月豪雨）となり、各地で甚大な被害が発生しました。6日には広島県、岡山県、鳥取県に大雨特別警報を発表しました。後半は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。

降水量は、山陰、山陽ともかなり多く、各地で日降水量などが統計開始以来1位となった所がありました。中国地方は7月9日ごろに梅雨明け（※速報値）したとみられます。

※梅雨入り、明けについては、後日、春から夏にかけての天候経過を考慮した検討を行い、期日が変更となる場合があります。



(実況) 7/5~11		平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
中国地方	山陰	-0.2℃ (平年並)	276% (かなり多い)	90% (平年並)
	山陽		734% (かなり多い)	92% (平年並)

参考データ

● 平年並の範囲

	平均気温 (1 か月)	平均気温 (1 週目)	平均気温 (2 週目)	平均気温 (3-4 週目)
中国地方	平年差：-0.3~+0.7℃	平年差：-0.7~+0.9℃	平年差：-0.4~+1.0℃	平年差：-0.4~+0.9℃
松江	26.2~27.2℃	24.7~26.4℃	26.0~27.5℃	26.6~28.1℃
広島	27.8~28.7℃	26.6~28.0℃	27.6~28.9℃	28.2~29.3℃

	降水量 (1 か月)	日照時間 (1 か月)
山陰	平年比：56~113%	平年比：91~118%
山陽	平年比：52~116%	平年比：92~113%
松江	84.3~166.2mm	160.7~210.5 時間
広島	77.8~165.4mm	170.3~214.4 時間

「平年並」の範囲は、同時期の過去 30 年間（1981-2010 年）の値から統計的に求めています。30 年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30 年間の 30 個のデータのうち、値が高い（多い）方から 11~20 番目となる 10 個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。また、実況の分布図にある「かなり高い（多い）」などは、高い（多い）方から 3 番目までの値に相当します。

● 晴れ日数と降水日数の平年値

	1 か月		1 週目		2 週目		3~4 週目	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
松江	16.4 日	8.5 日	3.2 日	2.9 日	4.1 日	2.1 日	9.2 日	3.4 日
広島	17.4 日	7.1 日	3.5 日	2.4 日	4.3 日	1.8 日	9.6 日	2.9 日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の40%以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量1mm以上」の日数です。この2つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

● 確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率 (低い(少ない):平年並:高い(多い))	解 説
高い(多い) 確率が 50%以上	高い(多い) 見込み
(20:40:40)	平年並が高い(多い) 見込み
平年並の確率が 50%以上	平年並の見込み
(40:30:30) (30:40:30) (30:30:40)	ほぼ平年並の見込み
(40:40:20)	平年並が低い(少ない) 見込み
低い(少ない) 確率が 50%以上	低い(少ない) 見込み